

高校で日本学生支援機構（以下「機構」）の奨学金の申し込みをして、すでに機構から「採用候補者決定通知」を受け取っている人は、奨学生として内定を得ている状態です。

所定の手続きを**各締め切り期限までに不備なく**行うことで、正式に奨学生として採用され、6月から奨学金の振込みを受けることができます。

採用手続きの概要

■入学前（3月）

1. 「採用候補者決定通知」を用意します。
2. 採用された奨学金の「種別」と「内容」を確認します。
3. 「進学前準備チェックシート」の内容を検討・記入します。
4. 「予約採用書類 提出書」を記入します。

■入学時（4月）

5. **4月7日まで（必着）**に必要書類を学生支援課に提出（郵送可）します。
6. **4月12日頃に**大学から「進学届入力下書き用紙」「ユーザID・パスワード」等がポータルサイト（日工大学生向け公式サイト）経由で送信されます。
7. **4月25日まで**に「進学届」をスカラネットに入力します。
8. **4月28日まで**に「進学届入力下書き用紙」等を学生支援課に提出します。

ここまでの手続きがミスなく完了すれば、6月11日には初回の奨学金が振り込まれますが、その後も「採用手続き」は7月末まで続きます。

各採用手続きの詳細

●入学前（3月）

手続き1 「採用候補者決定通知」を用意します

- 【進学先提出用】【本人保管用】とも非常に重要な書類です。日本学生支援機構（以下「機構」）から交付された他の書類と合わせて、**絶対に紛失しないよう大切に保管**してください。

手続き2 採用された奨学金の「種別」と「内容」を確認します

1. 選考結果				
選 考 結 果		給付奨学金	貸与奨学金	
			第一種奨学金	第二種奨学金
		候補者決定 支援区分：第Ⅰ区分	候補者決定	候補者決定
2. 選考結果の内訳				
		給付奨学金	貸与奨学金	
			第一種奨学金	第二種奨学金
要件確認等	国籍・在留資格等	○	○	○
	家計に関する基準	○	○	○
	学業成績・学修意欲に関する基準	○	○	○
	高卒後の期間、高卒認定合格（見込）	○	○	○
	必要書類の提出	○	○	○

(種別の確認)

- 決定通知の「1. 選考結果について」の部分で、「上記を踏まえた選考結果」のどの奨学金種別の欄に「**候補者決定**」の文字が記載されているか、ご確認ください。

- 「**給付奨学金**」……「原則として**返還が不要**」な奨学金を受給することができます。

あわせて「**国の授業料減免**」(高等教育修学支援)も受けることができます。

「**併用貸与**」……「第一種」「第二種」**両方**の奨学金を**借りる**ことができます。

「**第一種奨学金**」……「**利子なし**で返還が必要」な奨学金を**借りる**ことができます。

「**第二種奨学金**」……「**利子つき**で返還が必要」な奨学金を**借りる**ことができます。

※「給付奨学金」を受給する場合は、「併用」や「第一種」の候補者であっても第一種奨学金の利用には制限が入ります。

(内容の確認)

3. 採用候補者となった奨学金の内容					
		給付奨学金	第一種奨学金 (無利子)	第二種奨学金 (有利子)	入学時特別増額貸与奨学金 (有利子)
利用条件		支援区分：第Ⅰ区分◆ 社会的養護を必要とする人	最高月額利用：可 猶予年限特例：対象		日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の申込：不要
申込時の 選択内容	貸与額	*****	最高月額	月額120,000円	一時金500,000円
	返還方式	*****	所得連動返還方式	定額返還方式	定額返還方式
	保証制度	*****	機関保証	人的保証	人的保証
	利率の算定方法	*****	*****	利率見直し方式	利率見直し方式

- 給付奨学金の候補者は、「利用条件」の「**支援区分**」(**第Ⅰ～第Ⅲ区分**)をご確認ください。
- 「第一種」の候補者は、「利用条件」の「**最高月額利用**」(**可／不可**)をご確認ください。
- 貸与奨学金の候補者は、「貸与額」「返還方式」(所得連動／定額)、「保証制度」(機関保証／人的保証)、「利率の算定方法」(見直し方式／固定方式)をご確認ください。
- 「入学時特別増額貸与奨学金」を申し込んでいる場合は、利用条件の「**国の教育ローンの申込：必要／不要**」の別にご注意ください。「**必要**」となっている場合は、**入学前に**日本政策金融公庫にローン借入れの申し込みを行ってください。(公庫のローンが借りられなかった場合のみ、「入学時特別増額」を借りることができます)。
- 「入学時特別増額」のみを辞退することも可能です。この「特別増額」は、「第二種」よりもさらに高い利子が課される奨学金ですので、「**本当に必要なお金なのか**」を**再度ご検討**の上、必要不可欠な資金でなければ、辞退または減額することをお勧めします。
- ここで確認した内容は、後ほど「手続き3」で進学前準備チェックシートに記入します。

手続き 3 「進学前準備チェックシート」の内容を検討・記入します

- 「チェックシート」は決定通知と同時に機構から交付されています。
- 貸与奨学金（第一種・第二種）は、それぞれの選択肢の中からご自身で「貸与月額」を選択します。高校での申し込みの際に選択済みですが、変更も可能です。**借り過ぎて卒業後の返還に困らぬよう慎重に再検討の上、希望する貸与月額を記入してください。**
- それぞれの奨学金の月額の選択肢は、機構から交付された「奨学生候補者のしおり」でご確認ください。
- 第一種で「最高月額不可」となっている場合は、選択肢中の最高月額を選択することはできません。
- 「保証制度」「返還方式」「利率の算定方法」については、申し込み時点で選択した内容から変更することも可能です。特に「人的保証」を選択している場合には、**保証人をお願いする方に4年間の貸与総額（月額×48ヵ月分）を事前に示した上で、確実な了解を得ておくことが重要**です。了解が得られない場合は、「機関保証」に切り替えて下さい。

＜採用候補者決定通知の記載内容を確認し、検討した結果を「検討後の内容」欄に記入＞

項目	決定通知の記載内容 (または決定内容を確認)	検討後の内容 (検討した結果を記入)	備考
1. 給付奨学金	☐ 「候補者決定」 ☐ 「不採用」、「一」	☐ 利用する ※4 ページ [A] の書類が必要 ☐ 利用しない	給付のみ利用する (貸与は利用しない) → 5. ハ
2-1. 第一種奨学金 貸与額	☐ 「候補者決定」 ☐ 「不採用」、「一」	☐ 利用する ※4 ページ [A] の書類が必要 ☐ 利用しない	貸与について、第二種 のみ利用する → 2-2. ハ
2-1-1. 貸与額	☐ 最高月額の利用「可」 ☐ 最高月額の利用「不可」	☐ 最高月額 ☐ 最高月額以外の月額 (円) ☐ 最高月額以外の月額 (円)	※ 給付を併せて利用 する場合は、第一種 のみ利用する 月額が 決定されます。
2-1-2. 返還方式	☐ 定額返還方式 ☐ 所得連動返還方式	☐ 定額返還方式 ☐ 所得連動返還方式 (2-1-3は連動返還方式のみ選択可)	
2-1-3. 保証制度	☐ 機関保証 ☐ 人的保証	☐ 機関保証 ☐ 人的保証 (2-1-2. で「所得連動返還方式」を選択した人) ☐ 機関保証 (人的保証は選択不可)	
2-2. 第二種奨学金 貸与額	☐ 「候補者決定」 ☐ 「不採用」、「一」	☐ 利用する ※4 ページ [A] の書類が必要 ☐ 利用しない	貸与について、第一種 のみ利用する → 5. ハ
2-2-1. 貸与額	☐ 万円 ☐ 万円	☐ 万円 (2-1-2 万円以内の中から1万円単位) ☐ 14 万円 (私立大学の奨学金・私立大学のみ) ☐ 16 万円 (私立大学の奨学金・私立大学のみ) (2-1-2. で「定額返還方式」を選択した人) ☐ 2-1-3 で選択した保証制度 (2-1-3. で「所得連動返還方式」を選択した人)	※ 第一種と併せて利用 制度と同一となり得ます。
2-2-2. 保証制度	☐ 機関保証 ☐ 人的保証	☐ 機関保証 ☐ 人的保証 (2-2-1. で「所得連動返還方式」を選択した人) ☐ 機関保証 (人的保証は選択不可)	
2-2-3. 利率の算定方法	☐ 利率固定方式 ☐ 利率見直し方式	☐ 利率固定方式 ☐ 利率見直し方式	
3. 入学時特別奨学金 貸与額	☐ 日本経済金融公庫の「国の教育ローン」の申込 ☐ 必要 ☐ 不要 ☐ 一	☐ 利用する (万円) (10～50 万円以内の中から1万円単位) ☐ 利用しない ☐ 利用する (万円) ☐ 利用しない	「国の教育ローン」に申し 込み、必要書類を提出し た上で、奨学金を 受給する場合は、 必ず記入してください。
3-1. 利率の算定方法	☐ 利率固定方式 ☐ 利率見直し方式	☐ 利率固定方式 ☐ 利率見直し方式	2-2. 第二種を利用し ない場合はのみ選択

2

●入学時（4月）

手続き 4 **4月7日（必着）** までに必要書類を学生支援課に提出（郵送可）します

- 巻末の「予約採用書類 提出書」を必ず記入の上、提出（同封）して下さい。
- 宛先：〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1 日本工業大学 学生支援課
- この期限までに提出が必要な書類は、下記のとおりです。①～③は全員、④～⑦は該当する場合のみ提出が必要です。

①～③は、全員が提出します

① 日本学生支援機構 予約採用書類 提出書

* 本人情報をご記入の上、他の書類と一緒に提出（同封）してください。

② 令和3年度大学等奨学生採用候補者決定通知

* 【進学先提出用】を提出してください。裏面の記入を忘れずに。

③ 進学前準備チェックシート（ご自身で記入後のコピー）

* 最終ページの余白に、学生氏名・入学学科を記入しておいてください。

④ 学生本人名義の預貯金通帳のコピー（奨学金振込口座）

* 金融機関名・支店名（番号）・口座番号・名義人のわかるページをコピーしてください。

④～⑥は、入学時特別増額で「国の教育ローン申込：必要」となっている人が提出します

④ 日本政策金融公庫の教育ローンを利用できなかったことについて（申告）

* 自分で記入する書類です。書式は「決定通知」と同時に機構から交付されています。

⑤ 「国の教育ローン借り入れ申込書（お客様控え）」のコピー

* 日本政策金融公庫に教育ローンを申し込んだ際に発行されています。

⑥ 融資できない旨を記載した公庫発行の通知文のコピー

* 「申込：必要」の方は、政策公庫から借りられなかった場合のみ「入学時特別増額」を借りることができます。

※ ④～⑥を提出できない場合は、「入学時特別増額」はご辞退いただくことになります。

⑦は、外国籍の人が提出します

⑦ 在留カード（両面）のコピー

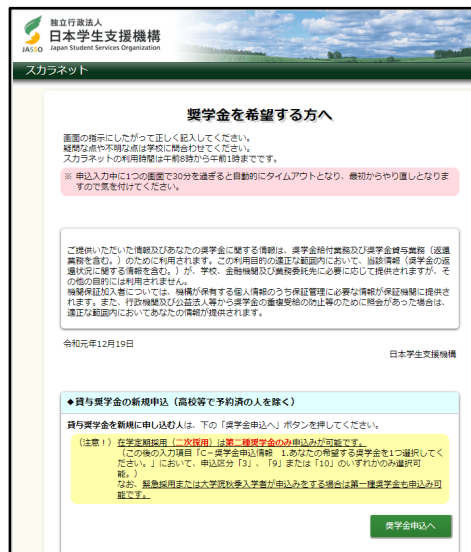
* 法律により常時携帯が義務付けられているカードです。在留資格と期限を確認します。

手続き 5 **4月12日頃**に大学から「進学届入力下書き用紙」「ユーザID・パスワード」等がポータルサイト（日工大学生向け公式サイト）経由で送信されます。

- 「進学届入力下書き用紙」には、スカラネット入力の方法と、入力の際に質問される項目が記載されています。実際にPCやスマホで入力する前に、回答する内容を確認・検討しておきます。
- 「スカラネット」とは、奨学金の申し込みや届出を行う日本学生支援機構のウェブサイトです。
- **送付された書類すべてをよく読み、十分理解した上でまちがいのない入力を行ってください。**
- 「給付奨学金」で採用されている方には、「**国の授業料減免の申請書**」と「**給付奨学金・自宅外証明書類提出書**」を送信します。必要事項を記入し、自宅外通学を証明する書類（アパートの契約書など）とともに、スカラネット入力後に学生支援課に提出します。（手続き7）

手続き 6

- 入力下書き用紙にまとめておいた回答内容を、PC・スマホでスカラネットに入力します。
- スカラネットへのログインには、「手続き 5」で大学から送信された「ユーザ ID・パスワード」と、決定通知【本人保管用】に記載されている「進学届提出用パスワード」の 2 種類のパスワードが必要です。
- 締め切り当日にやろうとして失敗する人が例年発生します。遅くとも前日までには入力を済ませてください。
- ミスなく入力できれば、最後の画面に「受付番号」が表示されます。この番号を入力下書き用紙の最終ページの余白に記入します。



手続き 7

- 手続き6で「受付番号」を記入した「進学届入力下書き用紙」を学生支援課に提出します。
- 「**給付奨学金**」で採用されている方は、「**国の授業料減免申請書**」も合わせて提出します。
さらに「**給付奨学金・自宅外通学**」の場合は、**アパートの契約書**など「**自宅外通学を証する書類**」と「**給付奨学金・自宅外通学証明書類 提出書**」の提出も必要となります。

ここまでの手続きが完了すれば、6月11日に初回の奨学金が振り込まれます。ただし、「採用手続き」は、その後も7月末まで続きます。

特に、貸与奨学金で「**人的保証**」制度を選択した場合には、7月上旬が提出締め切りとなる「返還誓約書（借用証書に相当）」に、**連帯保証人（保護者）と保証人[※]**（別生計・65歳未満・4親等以内の親族）の**実印の押印と印鑑登録証明書の提出が必要**となります。**保証人をお願いする方には4月7日の書類提出の前に、4年間の貸与総額**（月額×48ヵ月分）をお伝えした上で、**確実な了解を得ておくことが重要**です。

※ 実印を押す返還誓約書には、4年間の貸与総額（数百万円）が記載されています。この数字を見て、保証人となることを断られてしまう事例が過去には発生しています。

※ 連帯保証人（保護者）については、実印押印・印鑑登録証明書に加え、所得を証明する書類（源泉徴収票・確定申告書の控え・課税証明書など）の提出が必要になります。

日本学生支援機構奨学金 予約採用書類 提出書

予約採用（高校で手続きをとり、入学後の奨学金が内定している）新入生は、この書類に必要事項を記入して、**4月7日までに**他の関係書類とあわせて学生支援課へ提出または郵送してください。

●本人情報

受験番号 (または学籍番号)	
氏 名	
出身高校名	
入学学科	・ 機械工学科 ・ 電気電子通信工学科 ・ 応用化学科 ・ ロボティクス学科 ・ 情報メディア工学科 ・ 建築学科（建築コース） ・ 建築学科（生活環境デザインコース）
電話番号	(本人) — — (保護者) — —
住 所	〒

(提出・郵送する書類の□にチェックを入れてください)

全員が提出・郵送します

- ①採用候補者決定通知【進学先提出用】……□
②進学前準備チェックシート（記入済みのコピー）……□
③学生本人名義の預貯金通帳のコピー（奨学金振込口座）……□

入学時特別増額の採用者で「国の教育ローンの申込：必要」の人が提出・郵送します

- ④日本政策金融公庫の教育ローンを利用できなかったことについて（申告）……□
⑤「国の教育ローン借り入れ申込書（お客様控え）」のコピー……□
⑥ 融資できない旨を記載した公庫発行の通知文のコピー……□

外国籍の人が提出・郵送します

- ⑦在留カードのコピー（両面）……□

提出・郵送先

〒345-8501

埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4 - 1

日本工業大学 学生支援課

TEL : 0480-33-7508

FAX : 0480-33-7528

E-mail : scholarship@nit.ac.jp